

2026年6月24日

各 位

JX金属株式会社
JX金属商事株式会社

半導体検査プローブカード向け材料の増産について ~JX金属商事高槻工場におけるロジウムめっき液の生産能力を増強~

JX金属株式会社（社長：林 陽一、以下「JX金属」）のグループ会社であるJX金属商事株式会社（社長：六信厚、以下「JX金属商事」）は、同社の高槻工場におけるロジウムめっき液の生産能力の増強投資を行うことを決定いたしました。同社における生産能力を2028年度までに2025年度比で2倍以上に引き上げます。

ロジウムめっき液は、高い耐食性、耐摩耗性、反射率、硬度といった優れた特性を有し、足もとでは、半導体検査用器具である「プローブカード」に搭載される微細なプローブピン向けめっきとしての採用が進んでいます。プローブカードは、半導体製造工程において回路の電気的特性を検査する重要な装置であり、その接触部には数千から数万の微細なプローブピンが使用されます。このプローブピンには高い導電性と耐食性が求められることから、両特性に優れたロジウムめっきが適した材料として採用されており、JX金属商事のロジウムめっき液はこの分野で高い市場シェアを有しております。AI データセンターの急増に伴い、大量の半導体を検査する必要が生じており、同用途における需要が大幅に増大していることから、JX金属商事では、需要の増大に機動的に対応するため、ロジウムめっき製品生産の生産能力を増強することを決定いたしました。

JX金属グループでは、AI データセンターの発展に不可欠な先端材料として、主力製品である半導体用スパッタリングターゲットやインジウムリン基板のみならず、同製品をはじめとした各種製品を幅広く取り揃えております。今後も、市場の成長に機動的に対応しながら、先端デバイスに必要な素材の供給を通じて、社会の発展と革新に貢献してまいります。

以 上